

「生殖医療サポーターの会 OKAYAMA」
第7回ミーティング議事録

日時:2007年11月15日(木) 19時～21時

場所:岡山大学病院 南病棟 11階 カンファレンスルームD

参加者:11名

相澤亜紀, 江見 弥生, 門田貴子, 金子京子, 小橋未和, 杉山喜代美,
中塚幹也, 原田さゆり, 平田麗, 藤原順子, 松村 年美,

議事:

1. 連絡事項:

・出張相談室の日時の予定

第3回 2008年1月19日 井原 13時～16時

第4回 2008年2月16日 新見

2. 協議事項

1. 出張相談室への参加者を募集。できる方は連絡してください。

今回はハンドマッサージをしながらお話してリラックスしてもらった。10組程度参加。新見は不妊症だけでなく学校にもアナウンスする。

2. 「第3回 不妊・不育とこころの研修会」

予定としては2月。医学的、看護心理サポートの内容を1つずつ。

3. 生殖医療サポーターの会 OKAYAMA 忘年会

12月14日(金)19時～ 途中参加もドシドシお願いします。

研修プログラム (当番:岡山二人クリニック)

1. 各自からの話題提供

- ・ 病院にかかる前に知識を広めていくことも大事なので、この会でもできることがあるのでは？
学校とスクラム組んで取り組んでいる組織のサポートとしてできるか。でも、どこまで力をかけられるか、不妊・不育の方のサポートとの兼ね合いもある。
- ・ 代理出産「容認」54%
向井さんの同情票も多いのかな。子の出自を知る権利の問題もあり。第3者の配偶子使用の賛成は減少。制度の枠組みもしっかり整備する必要がある。
- ・ 死後生殖に関する初めての大規模アンケート
国民の48.4%は「生前の夫の意思がある場合は認めてもよい」。死後認知を認めていいとしているのか、詳しい設問方法と結果に興味あり。
- ・ 混合診療
日本は保険でのみでやっていこうという流れ。自費診療を入れたらすべて自費になる。理想はすべて保険適応にしたいけど・・・
- ・ 鉄剤を多く取っているほうが不妊リスクを減少させる
- ・ 体外受精後妊娠されたが、以前の既往症が再発し妊娠中断となったケースがありとても悩んだ。
体外受精と既往症による副作用など情報提供できたらと思う。
- ・ 「妊婦の血液から胎児の赤血球を採取し出生前診断できる」まだ確立された技術ではない。
- ・ 妊婦の生活習慣(喫煙、朝食摂取なし)がその後の子の肥満の率が上がる。妊婦の生活習慣が影響するのか、その人が親となり同じような習慣で生活するためなのか、原因ははっきりしないが、リスクを数値として知らせることで

妊婦の意識改善させられるのではないか。

- ・ 事実婚、子供にも色々な影響がでる(認知されない)ので、そういう情報提供も必要。今の日本では子供に不利益あり。

2. 症例提示と Discussion

◎事例紹介

詳細は配布資料参照を

不妊治療に夫の協力が得られないケースが見られる。不妊は夫婦の問題だが意見が合わないなど治療に対する考え方の違いもあり、どのようにサポートしていけばよいのだろうか？(4 症例提示)

[各意見]

- ・ 夫婦間の子供を欲しいと思う気持ちのギャップが大きいことがある。
- ・ 夫の方が、原因が自分にあつたらという恐怖が強いのではないか。男性はデリケート。
- ・ 精液検査を受ける前に、もし精子が少なくても体外受精など救済策はあることを伝えておく。
- ・ 夫婦の形「いたわりあい」目先のことばかり考えず、夫婦の愛を深めることが大事。
- ・ 精液検査もプレッシャーを与えないよう、いつでもいいよ♪という余裕をもたせてあげる。医療者側も言い方を考えてあげると妻にも余裕ができ、妻が夫へも優しくできるといい循環になるのかもしれない。
- ・ 産婦人科までは行きにくいという夫が相談室ならいけるかなと思って利用してもらいたい。利用しやすいように土日開催など考えていかないといいけない。
- ・ ケースによって適切な対応方法は異なるので、画一的な方法はとれない
- ・ 男性に対するフォローを見直すためには来てもらわないといけませんが、まずは女性側のフォローを厚くしていく。女性を慰めてあげる。
- ・ 手をつなぐなど軽いスキンシップからはじめ、マッサージ、会話から二人の距離を縮めていく。夫婦のコミュニケーションを深める会を計画したらいいかも。やっぱり結局は夫婦「愛」が大事♥

夫婦間でもお互いの気持ちを伝えられず、コミュニケーション不足になっているケースも多く見られる現状でした。一番大事なことは夫婦「愛」であることを再確認できた会だったと思います。

ご協力ありがとうございました。

(岡山二人クリニック 門田貴子, 金子京子, 平田麗, 杉山喜代美)

◎次回の会の予定

2007年12月14日(木) 19時～ 忘年会

時間制限のないバイキング形式となります(会費もあまり高くない予定です)。途中参加も可能ですので、是非ご参加下さい。お手数ですが、参加・不参加の旨を11月30日(金)の18時迄に相談室(e-mail:funin@cc.okayama-u.ac.jp)までご連絡下さい。よろしくお願ひ致します。

(不妊・不育ところの相談室 江見)

2007年11月28日

生殖医療サポーターの会 OKAYAMA 事務局
岡山県不妊専門相談センター
中塚幹也